



図-1 見学地点と経路

横須賀高校「2018年 胆振東部地震の岩盤崩壊」見学会を2023年10月17日(火)12:50~16:00に行った。生徒人数41名、教師2名、添乗員1名。現地案内は、厚真町観光協会、厚真町教育委員会、北海道開発局の協力を得て、北海道総合地質学研究センターの岡孝雄と関根達夫が担当した。

見学地点は、千歳空港を出発して、①苫小牧市御前水で火山灰の露頭、②厚真町・胆振東部地震の慰霊碑、③吉野地区、④富里浄水場、⑤幌内の岩盤崩壊、⑥岩盤崩壊でできた天然ダムの6カ所。

見学会当日、高校生は、2便に分かれて千歳空港に着いたが、2便目は25分遅れて12:30に到着した。岡と関根は千歳空港からバスに同乗、厚真町への車内で地質の説明を行う。

STOP2(慰霊碑)・厚真町では、厚真町教育委員会の乾氏に慰霊碑の説明を頂く。ここで観光協会の原氏がバスに同乗し、胆振東部地震の災害について説明していただく。

STOP5(幌内岩盤崩壊)岩盤崩壊で移動してきた送電線の位置を遠望する。北海道開発局の倉本氏から、災害の状況、工事の概要の説明を受ける。崩壊箇所まで作業道を500mほど登坂する。崩壊箇所では、滑落崖、移動岩体の上流端、立て替えられた送電鉄塔を眺める。移動岩体の崩落岩石に触れる。



図-2 STOP5 幌内岩盤崩壊箇所

STOP6(天然ダム)バス内から、崩壊源の分離・残存岩塊群を見る。

## ●感想

高校生からは、地質関連の他に、災害対策の法面工や砂防ダムに関する質問があった。また、バス内から見えた牧場の馬や牛、崩壊地へ登っているときに見かけた子鹿に感激していた。

札幌を出るときは雨模様だったが、厚真町では好天に恵まれ、厚真町教育委員会、観光協会および北海道開発局の協力を得て予定通りに現地見学会ができた。日高幌内川の大崩壊地（巨大岩盤すべり）を現地で見せることができ、生徒に何らかの印象を植え付けたと思う。

●経過と準備作業、

2021/12/9 近畿日本ツーリストから、前田・前理事長に、横須賀高校・胆振東部地震による岩盤崩壊地の現地案内（2023/11/17）の問い合わせがあり、協力可能と対応。

2022/8/31 宮下理事長が引継ぎ、日当など条件について協議する。

2023/1/20 現地の担当は岡、関根となり、近畿日本ツーリストと具体的内容について協議する。厚真町教育委員会、厚真町観光協会や北海道開発局と調整する。

5/7 事前学習資料の pdf を近畿日本ツーリストに送信

5/22 14:45-15:35 オンラインによる横須賀高校事前学習

7/8, 9/16, 10/13 現地下見

10/4 見学会案内書の pdf を近畿日本ツーリストに送信・印刷は横須賀高校

10/17 見学会実施